

第533号 2011年3月6日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570



お元気ですか
志村 たかよし です

第一回定例会
本会議で

印刷関連・地場産業 中小業者支援策を提案

私の「印刷関連産業対策本部」設立の提案に対し

区長が総合的支援策の検討を表明



本会議で質問する私=22日

「業者の声を聞くことが大切。総合的な支援策を検討したい」と区長

志村質問
区が緊急に「印刷関連産業対策本部」を立ち上げ、実態調査をはじめ、業者の意見を区の施策に反映させることや仕事を増やすための総合的な支援体制を確立すべき。

区長答弁

昨年実施の「伝統工芸・近代産業に関する調査」の分析結果や関係団体の意見をふまえながら印刷関連産業の継続発展にむけた総合的な支援策を検討していきたい。何を求めているのか業者の声を聞くことが大切。そこから生きた政策が出てくる。

第1回定例会が2月21日から始まりしました。

22日の一般質問で、日本共産党区議団を代表して、私（志村）と小栗智恵子区議が質問しました。

私は、地場産業、中小業者への支援は、地域経済の立て直しにとっても重要だと考え、地場産業である築地市場と印刷関連業について取り上げました。

【私の質問事項】

- ① 地域経済の立て直しにつながる印刷製本など地場産業・中小業者支援について
- ② 場外市場を衰退させ、区財政を破綻させるおそれのある、区の築地市場跡地利用計画「賑わい施設」構想について

とりわけ、印刷関連産業をとりまく状況は深刻なものがああり、党区議団は、昨年10月から、印刷関連事業者への懇談、アンケート調査を行っています。

今回の質問では、その結果を示しながら具体的な提案をしました。

本号では、「印刷関連・地場産業、中小業者支援について」、次号では「築地市場問題」について、ご報告します。

「先端技術の習得や研究開発を支援していきたい」と区長

志村質問

中央区の地場産業の特徴として、特殊印刷など多様な印刷技術や工場設備があります。事業の継承や後継者作りを支援するために、区が担当職員を配置してプロジェクトチームを作る必要があるのでは。

区長答弁

各種セミナーや中小企業技術者高度研修助成など人材育成に資する事業を通じて支援していく。

志村質問

京華スクエアのハイテクセンターを交流促進の場としてだけでなく、先進技術の習得や研究開発拠点として発展できるよう、区が援助することが必要では。

区長答弁

研修や会議等に利用されているため、研究開発の拠点としての整備は困難。都立産業技術研究センターと連携して先端技術の習得や研究開発を支援していきたい。

連載「わかまち今昔」(8) ~ 3月14日に「松の廊下」事件発生! ~



左と○印は浅野邸跡の碑



ひらやま。

(nny)

赤穂から移住してきた漁師たちの居住地のすぐ近く、今の聖路加病院の辺りに赤穂5万3千石の浅野内頭長矩(ながのり)の上屋敷がありました。時は元禄14年3月14日。パパンパン! 長矩は日ごろから恨みを抱いていた吉良上野介義央(よしか)にたいして堪忍袋の緒が切れて、殿中「松の廊下」で刃傷事件をおこしたのです。パパンパン! そのために、長矩は即日切腹、お家断絶となりました。

「鉄砲洲の屋敷」は、三日月の間に立ち退くよう命ぜられ、藩士たちは悲嘆の中でも見事に片づけて立ち退きを完了したぞ

- その他、
- ★中小業者への区の仕事発注拡大
- ★リース料補助制度の創設
- ★国民健康保険での傷病手当支給など、提案しましたが、区長の方針は、消極的なものでした。

ひきつづき「現場の声」を聞き、調査を進めて、中小業者の生活と営業に希望が持てる施策の実現をめざしてがんばります。

